

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

令和元年度 事業報告

1 事業報告の概要

令和元年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第1期地域福祉計画・第4期地域福祉実践計画」の5年次の取り組みをもとに推進してきました。特に、本町はオホーツク管内トップの高齢化率のなか、一人暮らしや夫婦の高齢者世帯が増え、老々介護など地域が抱えている課題も深刻化してきています。

また、高齢者に限らず何らかの理由でひきこもり状態になっている方など、制度の狭間で孤立状態になっている方もこの間の調査で浮き彫りになっています。

平成27年度から町と連携し取り組んでいる、大阪市立大学・北海道総合研究調査会HITとの共同事業である「地域相互支援型自治体推進モデル構築事業」は、予防的福祉や住民との協働による総合相談体制など有効性があり、国が進めようとしている「地域共生社会」の先駆的事业でもあります。この事業と連携し令和元年度も引き続き国のモデル事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（多機関協働の包括的支援体制構築ネットワーク事業）を、町と一緒に事業継続を図ってきたところです。そして、平成30年度には住民と専門職が協働した身近な福祉相談所が町内4カ所となり、担い手による見守り等の活動が広がっています。

また、住民による支え合い活動は、サロン事業、介護予防いきいきポイント事業、生活支援サポート事業の取り組みを通しても培われており、今後も住民主体となった活動を拡げていくことが求められています。

年度末となる2月後半からは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サロン活動や市民後見人フォローアップ研修など多くの事業が中止せざるを得ない状況下となり、未執行业務があったことをご了承願います。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

2 重点項目

1. 総合相談機能の充実

(1) あんしん生活サポートセンターほっとの運営

平成26年10月に設置したあんしん生活サポートセンターの活動は5年目に入り、権利擁護や生活困窮の相談窓口として、関係機関や地域の中に定着しつつあります。

令和元年度末には、市民後見人が個人受任しているケース4件、社会福祉協議会の法人後見9件と増えてきています。このケースに市民後見人13人が後見活動を担っており、市民後見人が果たす役割が益々増えてきています。また、北海道社会福祉協議会から受託している日常生活自立支援事業の利用が1件、津別社協独

自の通帳預りサービス「ほっと暮らしサポート事業」が5件と、成年後見制度の利用と合わせ権利擁護事業を一体的に担ってきました。

研修関係では、オホーツク管内市民後見人活動交流会を、新たに紋別市も加わり2市3町で実施をしました。町内の市民後見人フォローアップ研修は、開催案内したものの新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたところです。

(2) 地域相互支援型自治体推進モデル構築事業の推進

平成27年度から始まった大阪市立大学と北海道総合研究調査会（HIT）との研究事業は5年目を迎え、旭町第3、活汲中央、豊永第3・緑町第2自治会の4地域で身近な福祉相談所ぽっとを開設。月1～2回、地域の担い手と町・社協職員とが連携し、地域の相談拠点としての取り組みを行ってきました。

こうした地域の要支援者の見守りなどの活動は、予防福祉として国が推し進めようとしている地域共生社会に向けて「住民相互の支え合い機能の強化」を、津別は先んじて取り組んできたことでもあります。

また、この活動の延長線上の取り組みとして、ひきこもり者の支援に関わる中で、社会的孤立者の居場所づくりや社協あぐりの展開など、次へのステップになってきていますが、居場所の運営も含めて今後の課題も山積している現状です。

今年度も、国のモデル事業である「我が事・丸ごと」地域づくり推進事業を町が受託し、多機関協働による包括的支援体制構築事業ネットワーク会議に社協も積極的に加わり、世帯全体の複雑化・困難化した事例の課題を受け止める包括的な相談体制づくりを推進してきたところです。

2. 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

- ・サロン活動では、本年度共和第2自治会で新たに活動が開始となり、町全体では地区サロン10地区、運動サロン2地区、合計12地区でサロン活動が展開されています。10月には、サロン関係者が一堂に会した「サロン交流会」を、今年も昼食担当の日赤奉仕団の協力のもと140人の参加者・関係者で盛大に開催することができました。
- ・「命のバトン」の取り組みは、4自治会で取り組まれています。今後も、出前講座や自治会での説明などを通して命のバトンの取り組みを拡大していきます。
- ・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所やサロン活動の他にも、幸町、新町自治会で独居高齢者の見守り活動や防災訓練時の災害時要支援者の把握など、自治会の取り組みが進められています。
- ・福祉委員の見直しについては、今年度も自治会連合会の協議までには至っていません。今後の課題になっています。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

平成28年1月から導入した介護予防いきいきポイント事業は、着実に地域の中

に広まりつつあり、始めてボランティア活動に加わる人もいる等、住民同士の支え合いと共に新たなボランティアの発掘にも寄与しています。令和元年度は、6月に登録者事前研修（フォローアップ研修含む）を開催し、新たに15人が加わり年度末の登録者は154人になっています。2回目の研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になっています。

令和元年度のポイント交換者は、95人、244,000円（30年度74人、214,000円）と活動が広がってきています。今後も、人口の1割（500人）の登録者を目指し取り組みを進めていきます。

3. 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援コーディネーターの活動と生活支援体制整備事業への取り組み

介護保険法改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業は、住民主体となる通所介護の体制づくりの課題が残っています。平成29年度からこの課題に取り組む生活支援コーディネーター業務を町から受託し、生活支援体制整備協議体の運営や生活支援サポート事業の着実な運営に向けた取り組みを進めてきました。

(2) 生活支援サポート事業の推進

要介護認定者や総合事業対象者などの軽度者を中心とする家事支援を行う「生活支援サポート事業」は、今年度サポーター登録者養成研修を1回開催、サポーターフォローアップ研修は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となりました。本年度末では、サポーター登録者81人（前年より10人増）、実活動サポーターは32人、延活動者は193人でした。

この事業の実利用登録者は36人、延利用人数が181人となりました。活動内容は、お話し相手、室内清掃、ゴミだし、カーテン着脱などです。サポーターの商品券換券は、13人、23,000円でした。

(3) 福祉有償運送事業の取り組み

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助事業として福祉有償運送事業を平成29年7月から開始。事業登録者は令和元年度末で216人（要介護高齢者194人、障がい者22人）、実利用者も毎月40人を超える利用があり、定着した在宅福祉サービスになっています。

現在、登録車両4台（1台は予備）で登録運転手9人（うち社協職員5人）がいますが、車いす利用者が増えてきている中、車いす対応車両（現在2台）の不足や運転手の確保など課題を整理しながら、住民の要望に応えていくこととします。

(4) 認知症地域支援推進員の活動

地域における認知症の人とその家族を支援するため平成29年度から「認知症地域支援・ケア向上事業」を町から受託し、認知症地域支援推進員を配置し活動を行っています。平成30年9月から始めた「ちょこっと茶屋（認知症カフェ）」は、

毎月 40 名を超える参加者・ボランティアが集まっています。次年度に向け、当事者や家族の思いが話せる小規模カフェの取り組みも進めていきます。

認知症の人にやさしいお店登録は、今年度末 8 店の登録がありました。

今後も、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため町や関係機関と連携して取り組んでいきます。

(5) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティア、地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便、一人暮らし高齢者の集い、男の料理教室、ふれあい広場等々の事業を推進することができました。

4. 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

今年度は、平常時における災害ボランティアセンターマニュアルの整備や災害救援用備品機材の確保などの検討ができませんでした。次年度の課題となります。

5. 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 老人クラブ連合会事務局の取り組み

老人クラブ連合会事務局が社協に移行となり 4 年目。今年度も総会で確認した事業について、滞りなく実施をしてきました。令和元年度は、12 クラブ・382 人の会員ですが、年々会員数の減少が続いているのが現状です。引き続き会員増強に向けた取り組みや会員間の交流を中心に活動充実に努めます。

(2) 庁舎等建設に伴う協議について

令和 3 年完成を目指す庁舎等建設（健康福祉センター含む）問題については、今年度は 4 月から実施設計が始まり、備品配置等について都度町と事務レベルでの協議を行ってきています。今後も引き続き情報収集しながら、意見反映を行っていきます。

(3) 広報活動の充実

社協だよりは、当初計画通り年 4 回発行を行ってきました。また、社協ホームページの更新のほか、日常の社協活動についてはフェイスブックを活用するなど SNS（ネットワークサービス）の利用も図ってきました。

(4) 事務局体制の整備

令和元年度は 4 月時点で 5 名体制になりましたが、職員 1 名が 5 月末で退職、後補充すべく採用募集を行い、令和 2 年 1 月に採用することができました。

令和 3 年度には新庁舎で町保健福祉課とワンフロアになるため総合相談の窓口として事務局職員の増員など町との協議を継続していきます。

社会福祉協議会会議

■正副会長会議

令和2年2月25日(火) 原田会長、山内、篠森副会長 事務局2名

■理事会

- 第1回 令和元年5月22日(水) 10:00 ~ 12:00
出席者 理事11名 監事2名
- 第2回 令和元年6月11日(火) 16:30 ~ 17:10
出席者 理事10名 監事1名
- 第3回 令和元年10月2日(水) 14:00 ~ 15:40
出席者 理事10名
- 第4回 令和元年11月29日(金) 14:00 ~ 14:50
出席者 理事8名 監事2名
- 第5回 書面決議 決議があったとみなされた日 令和2年3月10日
(全ての同意書・確認書が確認された日)
- 第6回 令和2年3月25日(水) 10:00 ~ 11:20
出席者 理事11名 監事2名

■評議員会

- 第1回 令和元年6月11日(火) 13:30 ~ 15:10
出席者 評議員8名、会長、副会長2名 監事1名
- 第2回 書面決議 決議があったとみなされた日 令和2年3月12日
(全ての同意書が確認された日)
- 第3回 令和2年3月25日(水) 13:30 ~ 14:30
出席者 評議員13名、会長、副会長2名 監事1名

■評議員選任・解任委員会

書面決議 決議があったとみなされた日 令和2年3月12日
(全ての同意書が確認された日)

■在宅福祉サービス推進委員会

- 第1回 平成31年4月25日(木) 14:00 ~ 15:30
出席者 委員5名 事務局3名
- 第2回 令和元年11月7日(木) 14:00 ~ 15:20
出席者 委員4名 事務局3名

■ボランティアセンター運営委員会

- 第1回 平成31年4月25日(木) 14:00 ~ 15:30
出席者 委員6名 事務局3名
- 第2回 令和元年11月7日(木) 14:00 ~ 15:20
出席者 委員5名 事務局3名
- 第3回 令和元年12月9日(月) 10:00 ~ 11:00
出席者 委員6名 事務局2名

■歳末支援金配分委員会

- 第1回 令和元年12月6日(金) 14:00 ~ 14:15
出席者 委員5名 事務局2名

■内部監査

- 第1回 令和元年 5月15日(水) 9:00 ~ 決算監査 監事2名
第2回 令和元年 7月31日(水) 9:30 ~ 第1四半期 監事2名
第3回 令和元年 10月31日(水) 9:00 ~ 第2四半期 監事2名
第4回 令和2年 2月 3日(水) 9:30 ~ 第3四半期 監事2名

町内研修会・会議・打合せ等

- 定例民協(原則毎月第2木曜日) 出席者 山田局長

■町保健福祉課との連絡会議

令和元年 4月12日(金) 林研 山田局長、寺尾主事、二階堂主事

■自治会連合会定期総会

令和元年 5月30日(木) 林研 山田局長

■津別町社協役員等研修会

令和元年 6月11日(火) 林研集会室 16名(理事9名、監事1名、評議員5名)

■社協事業(平成30年度)実績町長報告

令和元年 6月12日(水) 原田会長、山田局長

■道東オホーツク地区更生保護女性会会員研修会講話

令和元年 6月27日(木) 中央公民館 山田局長

■管内社協職員交流会

令和元年 7月13日(土) 北見市 門脇係長、寺尾主事

■地域福祉計画策定委員会

- 第1回 平成31年 4月23日(火) 山内副会長、山田局長、門脇係長
第2回 令和元年 10月8日(火) 山内副会長、中島理事、山田局長、門脇係長
第3回 令和元年 12月10日(火) 山内副会長、中島理事、山田局長
第4回 令和2年 1月23日(木) 山内副会長、中島理事、山田局長、門脇係長

■社協職員面接試験

令和元年 9月6日(金) 場所 社協会議室
面接官 原田会長、山田局長、門脇係長

■津別町開町100年記念式典・祝賀会

令和元年 10月12日(土) 原田会長

■道社協網走地区事務所巡回支援

令和元年 10 月 25 日（金） 社協会議室 松野所長、山田局長

■小規模多機能ホーム夢ふうせんのか運営推進会議

令和元年 5 月 29 日（水） 共生ホーム 山田局長

令和元年 9 月 30 日（月） 共生ホーム 寺尾主事

令和 2 年 1 月 27 日（月） 共生ホーム 寺尾主事

■グループホームほのぼの運営推進会議

令和元年 5 月 30 日（木） 山田局長

令和元年 6 月 29 日（土） 山田局長

■北見地方精神保健協会研修会

令和元年 11 月 16 日（土） 津別町中央公民館 山田局長

■年末調整説明会

令和元年 11 月 21 日（木） 林研 谷事務員

■道社協地域福祉実践計画評価手法ヒアリング対応

令和元年 11 月 27 日（水） 社協

道社協・高橋課長、北星学園大学・岡田教授、山田局長

■コココーラボトリング飲料プレゼント贈呈式

令和元年 12 月 5 日（木） 社協 原田会長

■認知症高齢者等 SOS ネットワーク会議

令和 2 年 1 月 22 日（水） 林研 門脇係長

■農福連携キックオフセミナー

令和 2 年 2 月 27 日（木） 林研 山田局長

（事前打合せ 令和元年 9 月 30 日（月） 美幌町 山田局長）

町外研修会・会議・打合せ等

■西紋地区民協会長・副会長研修会講話

令和元年 5 月 20 日（月） 滝上町 山田局長

■全道市町村社会福祉協議会会長・事務局長研究協議会

令和元年 6 月 19 日（水）～20 日（木） 札幌市 原田会長、山田局長

- 管内社会福祉協議会職員連絡協議会研修会
令和元年7月4日(木) ～ 5(金) 雄武町 門脇係長、寺尾主事
- オホーツク管内社会福祉協議会会長・事務局長会議
令和元年7月10日(水) 網走市 原田会長、山田局長
- 全道社協職員連絡協議会・研究協議会
令和元年7月18日(木) ～ 19日(金) 札幌市 門脇係長、寺尾主事
- 日赤奉仕団視察研修随行
令和元年7月22日(月) ～ 24日(水) 札幌市、厚真町 及川主事
- 北見地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
第1回 令和元年11月12日(火) 北見市 山田局長
第2回 令和元年12月4日(水) 北見市 山田局長
第3回 令和元年12月20日(月) 北見市 山田局長
- オホーツク管内民生委員児童委員専門研修会講話
令和元年7月26日(金) 網走市 山田局長
- 北見地方精神保健協会評議員会
令和元年7月29日(月) 北見保健所 山田局長
- ICT活用促進フェスタ
令和元年8月23日(金) 北見市 山田局長
- 美幌町障がい福祉懇話会講話
令和元年9月18日(水) 美幌町 山田局長
- 地域包括支援センター職員研修実践報告
令和元年9月27日(金) 札幌市 山田局長
- 家事関係機関連絡協議会
令和元年10月1日(火) 北見家裁 山田局長
- 全国ひきこもり家族会全国大会シンポジスト
令和元年10月12日(土) ～ 13日(日) 札幌市 山田局長
- 災害時の福祉機器対処法研修会
令和元年10月20日(日) 厚真町 門脇係長
- 生活福祉資金貸付事業研修会
令和元年10月25日(金) 札幌市 門脇係長

- 民間社福事業職員共済会事業説明会
令和元年11月18日(月) 札幌市 谷事務員
- 網走地区地域支え合い活動推進セミナー講話
令和元年11月21日(木) 網走市 山田局長
- 全道市町村社会福祉協議会事務局長連絡会議
令和元年12月13日(金) 札幌市 (欠席)
- 斜里町自治会連合会研修会講話
令和2年1月18日(土) 斜里町ウトロ 山田局長
- 釧路地区民生委員協議会正副会長研修会講話
令和2年1月28日(火) 阿寒湖畔 山田局長
- オホーツク圏ボランティア推進会議
令和2年1月29日(水) 網走市 土屋VC委員長、及川主事
- 北海道社協地域部会議
令和2年1月30日(木) 札幌市 原田会長
- 広島県社協主催生活困窮者自立支援推進セミナー実践報告
令和2年2月19日(水) 広島市 山田局長

出前講座

- 旭昇園老人クラブ講話
平成31年4月20日(土) 旭昇園 寺尾主事
- 活汲老人クラブ講話と体操
令和元年9月1日(日) 活汲老人クラブ 寺尾主事
- 本町・幸町自治会講話と体操
令和元年10月10日(木) 商工会館 寺尾主事
- 津別小学校5年生福祉講座
令和元年12月4日(水) 津別小学校 門脇係長、寺尾主事
- 津別小学校4年生福祉講話
令和2年1月28日(火) 津別小学校 門脇係長、寺尾主事

視察対応

●池田町社協役職員・自治連合同（30名）

令和元年7月31日（水） 原田会長、山内・篠森副会長、自治連5名

●池田町民生委員協議会（15人）

令和元年9月5日（木） 福井民協会長、中川・伊東副会長、山田局長

●浦河町社協役職員（12人）

令和元年10月17日（木） 原田会長、山田局長

●鷹栖町社協事務局長

令和元年11月21日（木） 山田局長

事業名	あんしん生活サポートセンターほっと の運営
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町からの委託事業である相談・申立支援事業、広報・普及啓発事業、市民後見人のための研修・活動支援、関係機関との連絡調整業務を行った。 ・社協事業である法人後見業務の適正な運営を行った。 ・道社協委託事業である日常生活自立支援事業の運営を行った。 ・社協独自のサービスである「ほっと暮らしサポート事業」の運営を行った。

(実績)

(1) 相談内容 (実人数の件数)

相談内容	件数
成年後見 (申立て含む)	4
福祉資金貸付	4
金銭管理	2
虐待事案	2
生活困窮	1
ひきこもり支援	1
生活不安	1
その他	0
合計	15

※相談内容は「あんしん生活サポートセンターほっと相談対応経過報告」に準ずる。

(2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受任月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成25年5月	76歳女性	後見	中川孝敏・山内浩子	在宅
平成28年8月	76歳男性	保佐	大場建男・貝沼由利	施設
平成30年2月	88歳男性	保佐	山本靖博・井村ゆかり	施設
※令和元年5月	81歳男性	保佐	相馬由紀子 (津別社協との複数後見)	在宅

②法人後見受任

受任月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成27年5月	95歳女性	後見	嶋田 裕子	施設
平成28年2月	90歳女性	後見	清水 恵	施設
平成29年4月	87歳女性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成29年7月	76歳男性	後見	石井 満	在宅
平成30年1月	92歳女性	後見	中山 静男	施設
平成30年12月	92歳男性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成31年1月	87歳男性	後見	土屋昇・土屋けい子	在宅
※令和元年5月	81歳男性	保佐	相馬由紀子(個人受任)	在宅
令和2年1月	83歳男性	後見	(未委嘱)	施設

※印は同一人物

(3) 申立支援状況

受 任 月	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
令和元年	52歳女性	後 見	一般社団法人後見センター	病 院
令和元年	59歳女性	後 見	ばあとなあ登録者	病 院
令和2年	83歳男性	後 見	津別社協	病 院

(4) 日常生活自立支援事業契約状況

契 約 月	利 用 者	自立生活専門員	生活支援員
平成30年1月	68歳男性	門脇 隆司	寺尾 玲香

(5) 津別町ほっと暮らしサポート事業契約状況

契 約 月	利 用 者	支援内容	移行予定の制度
平成29年8月	69歳男性	金銭管理、負債整理	未定
令和元年6月	39歳男性	金銭管理	未定
令和元年10月	81歳女性	金銭管理、生活支援	成年後見制度申立準備中
令和2年2月	59歳男性	金銭管理	未定
令和2年3月	78歳男性	金銭管理	成年後見制度予定

(6) 会議等の開催

①あんしん生活サポートセンター運営協議会

- ・令和2年2月14日(金) 津別町林業研修会館
出席者 委員6人、事務局 町5人、社協3人
- ・協議案件 令和元年度あんしん生活サポートセンター事業報告について
令和2年度あんしん生活サポートセンター事業計画について
地域連携ネットワーク・中核機関設置に向けた協議

②あんしん生活サポートセンター受任調整会議

- 第1回 令和元年7月8日(月) 出席者 委員5人、事務局2人
 審査案件 1件 申立の審議
 報告案件 2件 申立・受任後の経過報告
- 第2回 令和元年8月2日(金) 出席者 委員5人、審査案件担当者1人、事務局3人
 審査案件 1件 申立の審議
 報告案件 1件 前回審議案件の報告
- 第3回 令和元年12月5日(水) 出席者 委員3人、事務局2人
 審査案件 1件 申立の審議
 報告案件 2件 申立後の経過報告

(7) 広報・普及啓発

①視察対応等

日 時	視 察 依 頼 先	担 当
令和元年5月23日(木)	津別町社会福祉協議会訪問介護事業所向けに講話	及川
令和元年8月6日(火)	弟子屈町社協役職員・市民後見人視察対応	山田 山本市民後見人

令和元年8月10日(土)	新得町市民後見人養成講座にて講話 「成年後見制度における行政の役割」	山田
令和元年10月1日(火)	釧路家裁家事関係機関連絡協議会にて津別町の取組について報告	山田
令和元年10月17日(木)	浦河町社会福祉協議会役職員視察対応	山田
令和元年10月23日(水)	障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会にて講話	山田
令和元年11月8日(金)	陸別町社協職員・市民後見人視察対応	山田 山内市民後見人
令和元年11月9日(土)	つべつ地域づくりフォーラムにて実践報告とシンポジウム	山田 石井後見支援員 員沼市民後見人
令和元年12月11日(水)	津別町精神障がい者家族会ひまわりの会へ講話	及川
令和2年1月25日(土)	社会福祉士会オホーツク地区支部会員研修会にて講話 「成年後見制度と後見人活動」	山田

(8) 市民後見人フォローアップ研修

①令和元年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

令和元年11月15日(金) 北見市社会福祉協議会

① 基調講演「成年後見制度利用促進法と市民後見人の活動状況」

講師 北海道社会福祉協議会 権利擁護課長

成年後見制度推進バックアップセンター 朝倉 裕次 氏

② パネルディスカッション

受任報告会「私のまちの支え合い～仲間の発表を聞いてみよう～」

司 会 社会福祉士 笹谷 貴志 氏

コメンテーター 弁護士 友澤 太郎 氏

③ グループワーク「私のなりたい後見人(像)」

講師 北海道社会福祉士会オホーツク支部 笹谷 貴志 氏

津別町参加者 市民後見人8名 社協3名 計11名

(9) 職員研修

全国権利擁護支援実践交流会 in 札幌

令和元年10月12日(土)～13日(日) ホテルライフオート札幌 寺尾主事出席

(10) 諸会議への参加

①オホーツク管内権利擁護センター情報交換会

	日時	場所	参加者(敬称略)
第1回	令和元年5月16日 (木) 14:00～15:45	津別町社会福祉協議会	北見: 笹森・新谷、大空: 菅野 美幌: 藤田、津別: 山田・寺尾
第2回	令和元年7月12日 (金) 15:00～16:40	北見市社会福祉協議会	北見: 笹森・新谷、大空: 菅野 美幌: 藤田、紋別: 小林 津別: 寺尾
第3回	令和元年9月18日 (水) 15:00～17:00	美幌町社会福祉協議会	北見: 笹森・新谷、大空: 菅野 美幌: 藤田・黒澤、紋別: 小林 津別: 山田・寺尾
第4回	令和元年11月1日 (水) 14:00～16:00	北見市社会福祉協議会	北見: 笹森・新谷、大空: 菅野 美幌: 藤田、紋別: 小林 津別: 寺尾、講師: 笹谷
第5回	令和2年1月23日 (木) 14:00～15:40	大空町社会福祉協議会	北見: 笹森・新谷、美幌: 黒澤 大空: 佐藤・菅野、紋別: 小林 津別: 山田・立花・寺尾

事業名	介護予防いきいきポイント事業
内容	・介護予防いきいきポイント事業に登録している高齢者（65歳未満の者も含む）が、指定施設、事業所、在宅要介護者宅で行ったボランティア活動に対し、実績を勘案したポイントを付与することで、町内商品券に換金できる事業である。高齢者にとっては自身の介護予防と同時に地域貢献、住民同士の助け合い、支え合いの醸成、新たなボランティアの発掘なども目的としている。

(実績と評価)

1. 登録者事前研修の開催

(1) 第1回登録者事前研修及びフォローアップ研修

日時 令和元年6月19日(水) 午後2時～4時

場所 津別町林業研修会館集会室

内容

①講演「大空町ボランティアセンターの取り組み」

講師 菅野 薫 一 氏 (大空町社会福祉協議会福祉活動専門員)

②活動報告「大空町ボランティア団体の活動」

「秋桜」「つくしの会」「青空会」

②津別町ボランティアからの実践報告

報告者 国井 矩子 氏、高橋 京子 氏

③事業説明 津別町社協 及川弘美 主事

参加状況 27人(うち新規登録者15人)

(2) 第2回登録者事前研修及びフォローアップ研修(未実施)

日時 令和2年3月13日(金) 午前10時～12時

場所 津別町民会館 大講堂

内容

講演「コミュニケーションはキャッチボール」

講師 姉帯 美和子 氏 (MIW工房 コミュニケーションナビゲーター)

事業説明 社協

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

2. 事業登録者の状況

令和元年度末

(年齢は登録時 単位:人)

年齢	男	女	計
65歳以上	29	64	93
64歳～40歳	12	42	54
40歳未満	2	5	7
合計	43	111	154

令和元年度は、新規登録者が15人(男4人、女11人)増となった。

事前研修会は6月に開催し、3月にフォローアップも兼ねた事前研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止の措置をとった。

3. 指定施設の状況

- ・指定施設 町内 8事業所
- ・社会福祉協議会事業

4. ポイントの換券状況

(1) 商品券に換券した登録者と換券金額

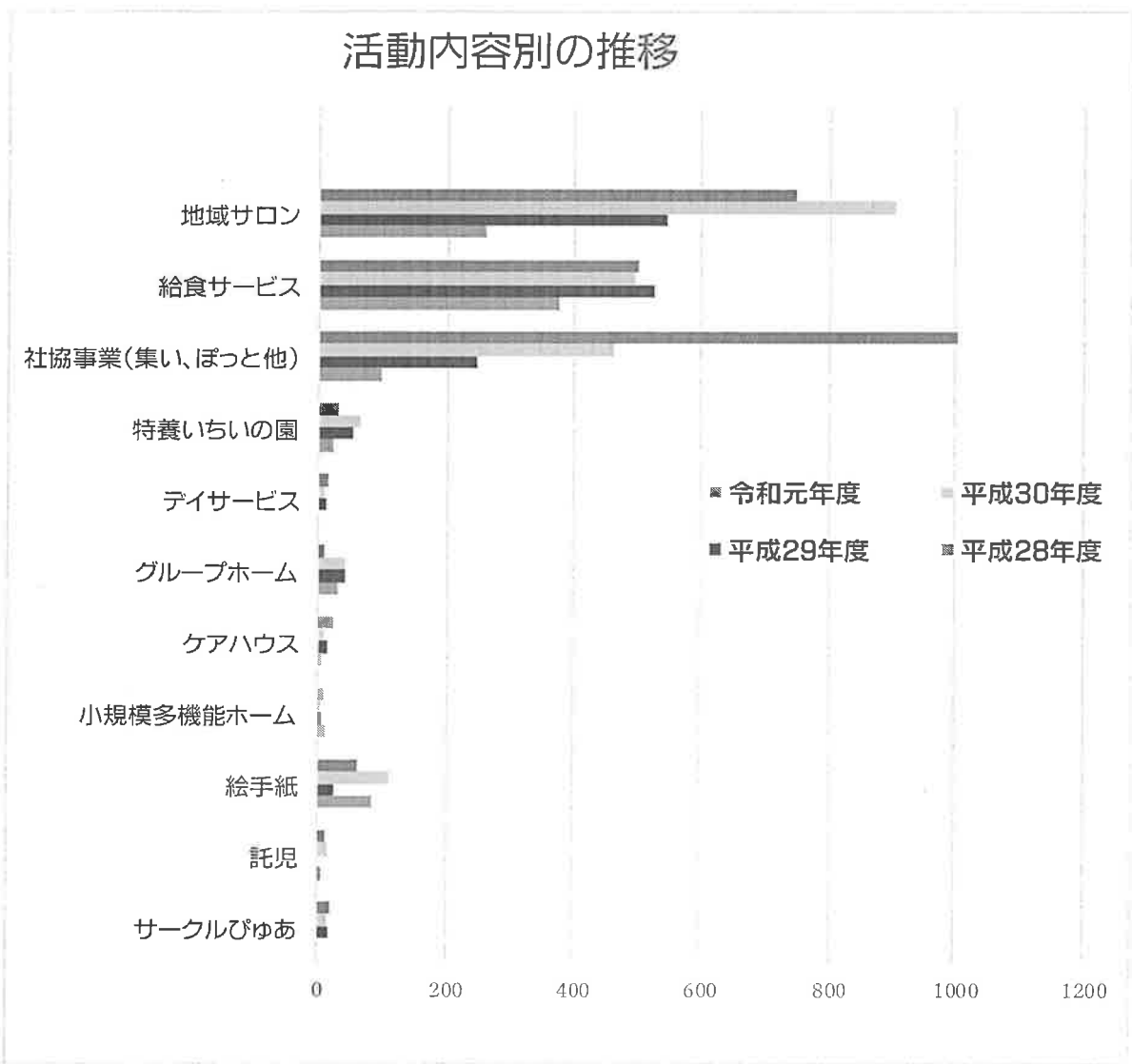
	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	30	84,000	64	155,000	94	239,000
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	31	89,000	64	155,000	95	244,000

(2) 換券者の活動内容

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	48	748	30.6
給食サービス	22	502	20.6
社協事業(集い他)	68	1004	41.1
サークルびゅあ	3	21	0.9
絵手紙	4	62	2.5
託児	5	12	0.5
特養いちいの園	9	31	1.3
デイサービスセンター	7	15	0.6
グループホーム	8	10	0.4
ケアハウス	11	24	1.0
小規模多機能ホーム	7	9	0.4
介護予防教室	1	2	0.1
合 計	193	2,440	100.0

令和2年度は、前年度と比較してこの活動に参加し換券した人数は95人で28%増、時間(ポイント)では14%増になっている。活動内容別では、社協事業が前年度より増えているなど、多くの人がこの活動に参加してきていることが伺え、今後もボランティアの発掘も含めて活動を継続していきたい。

活動内容で前年度と比較したのが次のグラフである。



事業名	福祉有償運送事業（移送サービス）					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の障がいや傷病等により通常の交通手段での移動に制約がある高齢者及び障がい者の社会参加を促進し、在宅福祉の推進を図るため移送サービスを行う。 ・運賃は2kまで260円で、2k以上は1kごとに120円。 					
（実績と評価）						
(1) 福祉有償運送運営協議会 令和2年2月10日（月）林研図書室 出席者 山田局長（運営委員）						
(2) 福祉有償運送事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送運転手講習 令和2年2月22日（土）～ 23日（日） 北見市 受講者 1名（立花さおり） ・自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送） 登録番号 北北福第30号 登録年月日 平成29年6月21日（北運企第129号） 登録の有効期間 2019年4月1日から2022年3月31日 ・車両台数 4台（内車イス対応車2台） 共同募金寄贈車 上藤上務店寄贈車（車イス対応車） 津別町無償貸与車（車イス対応車） 社協活動車（予備車） ・運転手 9名（内事務局5名） ・登録者数 216名（令和2年3月末） ・利用実績（令和元年度） 						
4月	実利用人数	40名	延利用回数	165回	利用金額	165,180円
5月	実利用人数	43名	延利用回数	180回	利用金額	194,880円
6月	実利用人数	39名	延利用回数	162回	利用金額	180,720円
7月	実利用人数	44名	延利用回数	214回	利用金額	222,200円
8月	実利用人数	43名	延利用回数	211回	利用金額	224,180円
9月	実利用人数	37名	延利用回数	154回	利用金額	186,440円
10月	実利用人数	41名	延利用回数	198回	利用金額	253,320円
11月	実利用人数	42名	延利用回数	187回	利用金額	197,660円
12月	実利用人数	43名	延利用回数	177回	利用金額	179,820円
1月	実利用人数	41名	延利用回数	159回	利用金額	167,340円
2月	実利用人数	41名	延利用回数	173回	利用金額	201,120円
3月	実利用人数	48名	延利用回数	188回	利用金額	210,420円
合計	月平均	41.8名	延利用回数	2,168回	利用金額	2,383,280円
<ul style="list-style-type: none"> ・行き先別延回数 津別町内 1,440回 美幌町 501回 北見市 199回 網走市 28回 						

事業名	生活支援体制整備事業
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターを配置。 ・生活支援体制整備推進協議体会議を町と協働で開催。 ・生活支援コーディネーター連絡会議等への参加。 ・津別町の実践について視察対応等にて普及。
<p>(実績)</p> <p>1、生活支援コーディネーター等に関する業務</p> <p>(1) 住民主体による通いの場の創出</p> <p>①令和元年11月21日(木) 10:00～11:30 ケアハウスつべつ ケアハウスつべつでの開設へ向けた検討会議。 (小野寺施設長、藤岡相談員、千葉補佐、丸尾係長、佐々木主任、寺尾主事)</p> <p>②令和2年1月24日(金) 10:00～11:45 役場応接室 協議体会議、通いの場検討へ向けた打合せ (小野課長、千葉補佐、山田局長、寺尾主事)</p> <p>③令和2年2月13日(木) 9:00～11:00 小清水温泉ふれあいセンター 小清水町ミニデイサービス(通所A)視察 (小野寺施設長、藤岡相談員、樋口主査、伊藤主事、寺尾主事)</p> <p>④令和2年2月18日(火) 13:00～15:00 役場相談室 協議体会議、通いの場の検討へ向けた打合せ (千葉補佐、丸尾係長、田屋主事、伊藤主事、寺尾主事)</p> <p>(2) サロン活動等既存の通いの場への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン 10か所 ・運動サロン 2か所 ・老人クラブ 12クラブ ・自治会出前講座対応 ・自主団体(ボランティア等)活動への参加 <p>(3) 関係機関との情報共有、会議等への出席</p> <p>①介護サービス事業所連絡会議(寺尾主事出席)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月9日(火)・令和元年5月10日(火)・令和元年6月12日(水) ・令和元年7月10日(水)・令和元年9月6日(水)・令和元年12月10日(水) ・令和2年1月10日(金)・令和2年2月10日(月) </div> <p>②福祉体験セミナー実行委員会(寺尾主事出席)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年3月27日(水)・平成31年4月11日(木)・平成31年4月18日(木) ・平成31年4月19日(金)・令和元年5月7日(火)・令和元年7月16日(火) ・事業実施 令和元年8月8日(木)～8月10日(土) ・令和元年9月17日(火)反省会 </div> <p>③津別町高齢者担当職員学習会参加 令和元年6月10日(月) 10:30～12:00 林業研修会館(山田局長、寺尾主事)</p> <p>④つべつ地域支えあいづくり学習会参加 令和元年6月10日(月) 13:30～16:00 林業研修会館 (山田局長、及川主事、寺尾主事)</p> <p>(4) 生活支援サポートセンター事業の実施</p>	

2、生活支援体制整備協議体に関わる関係者間とのネットワークの構築

(1) 津別町生活支援体制整備推進協議体会会議の開催

①協議体会議

第1回 令和元年5月24日(金) 10:00~11:15 構成員17名出席

・報告事項

(通いの場進捗状況、生活支援サポート事業実績、奄美大島視察報告)

・つべつ地域支えあいづくり学習会について

第2回 令和2年2月26日(水) 10:00~11:30 構成員16名出席

・報告事項

(福祉有償運送実績、生活支援サポート事業実績、小清水町視察報告)

・協議事項

(協議体構成員の見直しについて、協議体会議の定例開催について)

②協議体構成員

- ・特別養護老人ホームいちいの園・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町デイサービスセンター ・津別病院 ・グループホームほのぼの
- ・ケアハウスつべつ ・夢ふうせんのか・ほんき ・株式会社びーと
- ・加藤信陽堂 ・土田薬局 ・柳瀬食品店 ・津別町地域包括支援センター
- ・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会

3、生活支援コーディネーターの配置

主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 寺尾 玲香(社会福祉士)

副担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 及川 弘美(社会福祉士)

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

(1) 研修日程と内容

①令和元年9月20日(金) 網走市民会館 大会議室

- ・生活支援コーディネーター養成研修 応用編 寺尾主事 出席

②令和元年11月18日(月) 札幌市 かでの2.7

- ・生活支援コーディネーター連絡会議 寺尾主事 出席

5、視察対応等

(1) 日程と内容

①令和元年5月29日(水) 10:00~12:00 津別町社会福祉協議会 会議室

- ・湧別町社会福祉協議会職員視察(寺尾主事対応)

②令和元年7月18日(木) 札幌すみれホテル

- ・全道社協職員研究協議会
生活支援サポート事業 実践発表(寺尾主事発表)

③令和元年11月22日(金) 10:00~12:00 津別町社会福祉協議会 会議室

- ・網走市社会福祉協議会職員視察(寺尾主事対応)

事業名	生活支援サポートセンター事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上の支援が必要な方が、在宅で自立した生活を営めるよう住民同士の支え合いで家事等の生活支援を行う。 ・支援希望者とサポーターのマッチング、関係機関との連絡調整を行う。 ・支え合いの活動を実施するにあたり、活動の担い手となる住民を養成するための研修会を開催した。

(実績)

1、活動実績

(1) 利用登録者数 36名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間 (分)	延べ活動サポーター数
4月	3	9	390	9
5月	5	10	450	11
6月	5	12	510	13
7月	6	14	570	15
8月	7	12	480	14
9月	8	21	960	26
10月	7	20	810	24
11月	6	16	690	19
12月	8	22	810	23
1月	6	19	630	22
2月	6	13	450	14
3月	3	13	390	3
計	70	181	7,140	193

(3) 活動内容

- ・お話し相手 ・室内清掃 ・ごみ出し ・窓ふき ・台所清掃 ・トイレ清掃
- ・洗面台清掃 ・風呂場清掃 ・カーテン着脱 ・掃除機かけ ・買い物代行
- ・電気カバー掃除 ・神棚幕取り付け ・衣類整理 ・玄関清掃

(4) チケット利用実績

・238枚 (238×100円) = 23,800円

2、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット

・1セット：30分 100円×5枚つづり (500円)

(2) 販売実績

・45セット (45×500円) = 22,500円

3、サポーター登録関係

(1) 生活支援サポーター養成研修の開催

①養成研修

令和元年7月6日(水) 10:00~12:00 1日目 10名

令和元年7月7日(木) 10:00~12:00 2日目 9名 サポーター登録 10名

○研修プログラム

- ・介護予防の推進と生活支援体制整備について
- ・津別町の介護サービス・福祉サービスの現状と課題
- ・生活支援サポーターの役割と求められる支援
- ・当事者理解(高齢者の理解)
- ・当事者理解(認知症の理解)
- ・生活支援サポーターの活動

②生活支援サポーターフォローアップ研修

令和2年3月13日(金) 14:00~16:00

講師 姉帯 美和子氏(MIW工房)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止

(2) 生活支援サポーター登録者 81名

実活動者 32名

4、ポイント商品券交換申請者 13名 換券額 22,500円

事業名	ふれあい・いきいきサロン活動の推進
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのサロン活動にスタッフの派遣を行い支援してきた。 ・地域でのサロン活動の立ち上げに、職員を派遣し一緒になって進めてきた。 ・他地区との交流を含めた、サロン交流会を開催した。 ・運動特化型サロンを継続し、身体機能維持を目的に開催した。 ・サロン活動をより活発化するため、サロン担当者会議を開催した。

(1) 地区サロンの開催状況

サロン名	開催回数	参加延人員	備考
高台町ほのぼのサロン	12回	115人	・福祉バス利用
柏町いきいきサロン	10回	121人	
相生あいあいサロン	11回	102人	・福祉バス利用 ・講師派遣依頼
本岐地区いきいきサロン	11回	192人	・福祉バス利用
豊永第4げんきサロン	11回	385人	・福祉バス利用 ・講師派遣依頼
東達美いきいきサロン	10回	125人	
東町ふれあいサロン	10回	210人	
旭町おさんぽ・ぽっと	11回	195人	・福祉バス利用 ・講師派遣依頼
活汲おげんきサロン	11回	164人	
共和にこにこサロン	4回	114人	
計 10地区	101回	1,723人	

(2) 地区サロン立ち上げ支援の状況

- ・ 5月26日(日) 18:30 共和生きがいセンター
共和第2自治会役員会(山田局長・寺尾主事)
・ 支えあいのまちづくりに向けた津別町の現状報告
・ ふれあい・いきいきサロン事業実施に向けた説明
- ・ 9月19日(水) 19:00 共和生きがいセンター
共和第2自治会役員会(山田局長・寺尾主事)
・ サロン立ち上げに向けた協議
- ・ 11月14日(木) 10:00 共和生きがいセンター
共和にこにこサロン開所式(町~千葉補佐、丸尾係長
社協~山田局長、寺尾主事)

(3) 運動サロンの開催状況

①共和はつらつ健康サロン開催状況(対象地域：共和2・共和3・共和4・豊永3自治会)

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	27人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	15人	高間運動指導士、スタッフ
9月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	18人	体力測定、日赤看護大学：山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	17人	高間運動指導士、スタッフ
1月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	23人	高間運動指導士、スタッフ
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止		
計	22回	223人	

②西町さわやか健康サロン開催状況(対象地域：西町・緑町1・緑町2・緑町3自治会)

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
9月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	19人	体力測定、日赤看護大学：山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
12月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
1月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	13人	高間運動指導士、スタッフ
3月	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として中止		
計	22回	206人	

(4) サロン担当者会議の開催

日時・場所 平成31年4月18日(木) 10時から11時45分 津別町社会福祉協議会 会議室

内 容 ①各サロンの活動状況と課題

②助成金交付申請について

③レクリエーション用具の借入先について

④その他(講師等派遣、福祉バス使用、サロン交流会開催について)

出席者 サロン運営者

高台町2名・柏町2名・相生1名・本岐2名・豊永第4 2名・東達美1名

東町2名・旭町3名・活汲3名・共和はつらつ1名・西町さわやか1名

地域包括支援センター1人・社会福祉協議会2人 合計24人

(5) サロン交流会の開催

日時・場所 令和元年10月24日(木) 10時30分から13時 津別町中央公民館

内 容 ①「かるっちゃ体操STEP」

指導 サロンスタッフ 藤岡氏・加藤氏

②「コグニサイズで認知症予防！」

講師 鈴木 仁 氏(地域おこし協力隊)

③「津別町からのお知らせ」

建設課、産業振興課、保健福祉課

参加者 高台8名・柏町9名・相生6名・本岐6名・豊永第4 16名・東達美7名

東町18名・旭町3名・活汲4名

共和はつらつ運動8名・西町さわやか運動8名

幸町自治会2名 共和第2自治会9名

関係機関含めて合計 138名

昼食賄い 赤十字奉仕団の協力

事業名	認知症地域支援・ケア向上事業				
内容	1. 認知症地域支援推進員を受託し、認知症の人や地域住民が集い交流できるよう、認知症カフェの運営を行った。 2. 認知症に関する普及・啓発のため、出前講座等を行った。 3. 認知症地域支援推進員としての資質向上のため、研修会等に参加した。 4. 認知症の人に対し、適切なサービスが提供されるよう、関係機関との連携を図った。				
(実績)					
1. 認知症カフェ（名称：ちよこっと茶屋（カフェ））の運営					
(1) 開催日と開催結果					
	開催日	参加人数	ボランティア (職員含)	計	内容
1	4月23日	29人	18人	47人	管理栄養士による講話
2	5月21日	36人	16人	52人	読み聞かせ
3	6月25日	31人	17人	48人	脳トレ体操
4	7月30日	29人	20人	49人	ライブ
5	8月27日	28人	16人	44人	体操
6	9月24日	19人	13人	32人	折り紙
7	10月29日	27人	14人	41人	昔遊び
8	11月26日	24人	15人	39人	保健師による講話
9	12月24日	29人	17人	46人	お正月飾り作り
10	1月21日	23人	17人	40人	でんぷん団子作り
11	2月25日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
12	3月24日				
延人数		275人	163人	438人	
(2) 認知症の人の家族の茶話会の開催 令和元年11月22日(金) 13:30～15:00 参加者：3名 スタッフ：2名 計5名					
(3) プレ出前カフェの開催					
	開催日	対象者			参加者
1	1月8日(水) 11:00～12:00	高台町・いきいき 100歳体操参加者			8名
2	2月12日(水) 11:00～12:00	高台町・いきいき 100歳体操参加者			8名
3	3月11日(水) 11:00～12:00	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			-
(4) 認知症カフェ運営のための取組み					
①先進地視察					
I 令和元年12月17日(火) 10:00～12:00 美幌町男性介護者の会 視察者：社協1名					
II 令和元年12月20日(金) 10:00～12:00 紋別市認知症カフェ 視察者：役場2名 社協1名 計3名					
②認知症カフェに関するボランティアとの打合せ					
	開催日	主な内容			参加者
1	4月3日(水)	平成30年度の反省点、平成31年度に向けた改善点など			18名
2	12月9日(月)	津別町ボランティアセンター運営委員会と次年度に向けた話し合い			6名
3	12月17日(火)	12/24開催に向けた打合せ			8名
4	1月16日(木)	1/21開催に向けた打合せ			7名
5	1月23日(木)	ボランティア全員と次年度に向けた話し合い			14名
6	2月13日(木)	2/25開催に向けた打合せ			7名

2、出前講座等の開催

(1) 認知症サポーター養成講座の開催

	開催日	対象者	参加者
1	8月22日(木)	ちょこっと茶屋ボランティア	22名
2	12月16日(月)	カフェジンバスタッフと有志	5名
3	3月3日(火)	金融機関向け・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
4	3月17日(火)		-

3、認知症地域支援推進員研修会等への参加

(1) 認知症カフェ運営講座(北海道)

平成31年4月13日(土) 11:00~16:00 滝川市農村環境改善センター
及川主事出席

(2) オホーツク管内認知症地域支援推進員ネットワーク会議

令和元年8月30日(金) 13:15~16:00 オホーツク合同庁舎
及川主事出席

(3) 認知症地域支援推進員研修(現任研修)

令和元年9月19日(木)~20日(金)
TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町(東京都)
及川主事出席

(4) 認知症地域支援推進員ネットワーク会議 リーダー会議

令和元年10月23日(水) 10:00~16:00 自治労会館(札幌市)
及川主事出席

4、認知症の人にやさしいお店登録事業

	事業所名	登録月
1	加藤信陽堂薬局	令和元年10月
2	増田呉服店	令和元年10月
3	津別郵便局	令和元年10月
4	さんさん館カフェ	令和元年10月
5	丸玉木材(株)津別病院	令和元年12月
6	カフェジンバ	令和元年12月
7	北見信用金庫津別支店	令和2年1月
8	本岐郵便局	令和2年3月

計8店

多機関の協働による包括的支援体制構築事業

事業名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業への参画
内容	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省は、対象者ごとに整備された「縦割り」の公的福祉サービスを「丸ごと」へと転換していくため、サービスや専門人材の養成など進めていくことを意識し、平成 29 年度より地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業として、「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を推進している。 津別町では、この国のモデル事業を平成 30 年度から展開し、社協もその構成員の一員として、これまで関わってきた地域相互支援型自治体推進モデル構築事業による身近な福祉相談所ぽっとの関係から、より積極的な参画として活動を展開してきた。

(実績と評価)

(1) プロジェクト介護の開催

①多機関協働による包括的支援体制構築事業に定める「相談支援包括化推進会議」として、町保健福祉課と社協職員によるプロジェクト会議を位置づけて活動を行ってきた。

回	開催日	主な協議事項
第 1 回	平成 31 年 4 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト会議、ネットワーク会議の進め方について 各拠点での取組み方法（職員の役割分担、情報共有方法）
第 2 回	令和元年 6 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> 研修日程、カリキュラムについて 庁内連携について 「ぽっと」の取り組みの情報共有について 先進地視察について 出版について
第 3 回	令和元年 8 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> 事例について情報共有 ネットワーク会議について 先進地視察について
第 4 回	令和元年 9 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> 「ぽっと」の取り組みの情報共有 個人情報の取り扱いについて
第 5 回	令和元年 12 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 「ぽっと」の取り組みの情報共有 ネットワーク会議について

※第 6 回プロジェクト会議を令和 2 年 3 月下旬に想定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とした。

(2) 「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」について

①ネットワーク会議の目的

これまでの「地域相互支援型自治体推進モデル」により「ぽっと」を開設し、住民に身近な圏域の「我が事・丸ごと」で受け止める環境ができつつある一方、町として、さらに「丸ごと」を受け止める専門職や場が必要であるとの認識に基づき、各分野の制度・社会資源、専門性を基礎としながら、包括的な支援体制の構築へとつなげていくことを目的として、「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」（以下ネットワーク会議）を展開することとした。

②ネットワーク会議の実施概要

ネットワーク会議の開催日時と主な協議事項は次のとおり。

回	日時	主な協議事項
第 1 回	令和元年 6 月 14 日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度までの取り組み報告 今年度の進め方について 「ぽっと」の状況について 支援困難事例（1 事例）の検討
第 2 回	令和元年 9 月 26 日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 視察報告 研修報告
第 3 回	令和 2 年 3 月 27 日 (書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> 事例経過報告

③ネットワーク会議構成団体

ネットワーク会議構成団体は次のとおり。なお、第1回目については全員に参加を促し、第2回目については、事例に関係する方に参加を要請した。

- ・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会 ・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町特別養護老人ホームいちいの園 ・津別町デイサービスセンター ・津別病院
- ・グループホーム ほのぼの ・ケアハウス つべつ ・夢ふうせん ののか・ほんき
- ・株式会社 ビーと ・NPO 法人津別町手をつなぐ育成会 ・津別町地域包括支援センター
- ・津別町社会福祉協議会訪問介護事業所 ・オホーツク総合振興局社会福祉課
- ・オホーツク総合振興局北見保健所 ・オホーツク総合振興局北見児童相談所
- ・オホーツク若者サポートステーション ・生活困窮者自立センターふくろう
- ・広域相談サロンくらしネットオホーツク・津別町民生委員児童委員協議会
- ・津別町自治会連合会 ・旭町第3自治会ぽっと ・活汲中央自治会ぽっと
- ・豊永第3自治会ぽっと ・緑町第2自治会ぽっと ・美幌警察津別派出所 ・美幌・津別広域事務組合津別消防署 ・津別町障がい相談支援事業所 ・津別町要保護児童対策地域協議会

④ネットワーク会議の成果

ネットワーク会議を開催するに至った過程、会議の準備及び開催を通して得られた成果として、次のとおり整理することができる。

1) 制度の狭間にいる・複合課題を抱える「世帯」への個別支援実施

今回ネットワーク会議で取り扱った事例は、これまで役場や教育機関が主に関わってきた人を切り口として、支援が開始されている事例であり、支援が行き詰まっている面もあったいわゆる困難事例であった。そうした事例を今回のネットワーク会議では「個人」ではなく、「世帯」全体として取り扱い議論を重ねてきた。制度の枠組みで支援を行う場合には、制度の対象とする「個人」に対し支援を行う傾向があり、制度の枠の中での支援にとどまっていたが、今回複合的課題を抱える「世帯」全体を対象として支援を検討することにより、課題に対し、多面的にアプローチすることが可能となり、その視点を関係者間で共有できたことは成果の一つであると言える。

2) 顔が見える相談者ネットワーク

今年度から新たに追加された2拠点の「ぽっと」の関係者が、ネットワーク会議にも参加するようになった。そこで他の相談者ネットワークとして顔が見える関係を構築できたことも成果の一つである。「ぽっと」のメンバーが入ることによって、専門家側にとってもアウトリーチがしやすくなる等相互にとってメリットが期待され、このことは津別町民全体に対し、予防医的な効果を期待できる。

3) 「ぽっと」の新たな2拠点も含めた取り組みについて情報共有

平成30年度から2箇所が追加され、合計4箇所の「ぽっと」の展開について、先行していた2箇所の情報とともに、新規の2箇所の取り組みも参加メンバーと共有することができた。それぞれの新規2箇所については、どちらも訪問活動を行い、住民に声をかけやすくなった等の成果が示された。一方、既存のメンバーに加え、新たな担い手の参画ということで課題認識を持っていることも共有することとなった。

(3) 地域を基盤としたソーシャルワーク専門職研修

①研修の目的

町内の高齢介護・障がい・児童分野で相談員等を担当している専門職が、当事者本人の生活拠点である地域に出向き、ニーズのある本人に直接働きかけると同時に、早期発見のためのネットワークの形成や地域住民が身近なところで支え合う体制づくりを目指していく必要がある。

そこで、町内の相談員を対象に、地域の担い手と一緒に地域を基盤としたソーシャルワークを担える専門職等を育成することを目的に、下記の研修を企画した。

- ・第1回 令和元年7月24日(水) 午後2時～4時30分

「生活困窮者自立支援制度が目指すもの～地域のカタチ～」

講師 小樽市役所福祉部主幹 菊地英人氏

(元厚生労働省社会援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室生活困窮者対策官)

参加者 23名

- ・第2回 令和元年8月21日(水)午後2時～4時30分
「地域を基盤としたソーシャルワークの展開」
講師 大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 野村 恭代 氏
参加者 26名

- ・第3回 令和元年9月3日(火)午後2時～4時30分
「地域ニーズの把握と課題解決プログラムの作成」
講師 北星学園大学社会福祉学部臨床学科 准教授 畑 亮 輔 氏
参加者 20名

〈演習〉 身近な福祉相談所ぽっとにて

(4) 先進事例の取り組みについて(視察報告)

①視察先の目的

津別町でのネットワーク会議及び「ぽっと」の効果的な展開等にむけて、今後の参考となる取り組みを既に実践している地域に対し視察を行い、津別町の取り組みの参考とすることを目的に次のとおり先進事例視察を行った。

②視察概要

1) 岡山県総社市社会福祉協議会

- ・日時 令和元年7月2日(火)午前9時～12時
- ・場所 総社市社会福祉協議会、居場所「ほっとタッチ」
- ・内容 人口69,137人、高齢化率28%、地域の課題として、認知症、貧困、ひきこもり、「8050問題」のような複合課題を持つ世帯の増で課題の重度化、深刻化をもたらす。
社協は、総合相談支援体制⇒7つの相談センターを設置
障がい者基幹相談支援センター(平21年)、障がい者千人雇用センター(平24年)
権利擁護センターしえん(平25年)、生活困窮支援センター(平26年)
そうじゃ60歳からの人生設計所(平28年)、ひきこもり支援センター(平29年)
復興センター(平30年)
ひきこもり支援では、専門職2名を配置(市独自事業)ひきこもりサポーターを養成、居場所「ほっとタッチ」を設置し、当事者及び家族支援をひきこもりサポーターとともにしている。

2) 大阪市役所地域福祉課

- ・日時 令和元年7月3日(水)午前10時～12時
- ・場所 大阪市役所 会議室
- ・内容 孤独死など複合的課題を抱えた世帯の増など相談支援体制のあり方を検討。
厚労省の多機関協働による包括的支援体制構築事業(平成29～30年度)にて、総合的な支援調整の場(つながる場)を開催。
区の担当者が相談支援機関の選定・招集、スーパーバイザー(学識景観者等)、非常勤嘱託職員(社会福祉士等)を雇用し、複雑・困難事例の検討をつながる場で行う。
令和元年度からは、全24区でこのつながる場を開催している。

3) 視察参加者

- 津別町保健福祉課長 小野 淳子
- 〃 主任 佐々木祐也
- 津別町社会福祉協議会事務局長 山田 英孝
- 〃 主事 及川 弘美
- HIT研究員 西口 千晶

事業名	障がい者・生活困窮者（ひきこもり者）等の働く場の創出事業				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度から実施している地域相互支援型自治体推進モデル研究事業の調査結果により、津別町内には長期の引きこもり者が 18 歳以上 64 歳未満の 2%（約 50 人）に上り、そのほとんどが 40 代以上の中高年齢になっており、早急な対応が求められている。 ・平成 28 年度から始まった「身近な福祉相談所ぽっと」では、住民の担い手と役場・社会福祉協議会の専門職とが連携して、ひきこもり者や生活困窮者等の個別支援、地域支援を行ってきている。また、ひきこもり者や精神障がい者等の「居場所」の開設や平成 29 年度から始めた「中間的就労の場」づくりである「社協あぐり（農園）」の開設を通しながら、障がい者やひきこもり者を含めた生活困窮者が安心して暮らせる環境整備を図っていくことを目的としている。 				
(実績)					
(1)「居場所」の取り組み					
<p>①居場所の目的</p> <p>津別町内にて自宅でひきこもり中心の生活を送っている方、または社会との繋がりが乏しい方向士が居場所に集まり、軽作業や社協事業のボランティアを通し、人間関係の構築や協調性を養う場となるよう活動する。最終的には仲間意識の醸成、社会との繋がり（ボランティア・就労など）を目指し、支援を受けても自らが判断し生活ができる事を目的とする。</p>					
<p>②居場所の対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患等がないが社会との結びつきが薄い方 ・精神疾患、知的障がい、発達障がいにより家族以外との接点がない方 ・就労しているが、就労日以外で外出がしたい方 ・年齢関係なく人との接点を持ちたい方 <p>※障がい福祉など制度の適用外の居場所として、制度のはざまの人たちも対象</p>					
<p>③居場所開催時期等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 現在の定期利用者が 2 名、うち 1 名が生活保護受給者で、保護費支給日には役場福祉係に来るため、それに合わせ毎月の保護費支給日を開所日とした。（開催時間 午前 10 時から 12 時） ・また、不定期に知的障がいがある者の作品づくりの会場として提供しているほか、精神障がい当事者の会「サークルぴゅあ」の例会会場として利用していた。 					
<p>④居場所の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の居場所の運営は、支援員（元町保健師、ヘルパー資格）2 名を雇用した。また、随時、町保健師や社協職員など当事者に関わりある者が居場所を訪れて交流している。 					
⑤居場所開所日と参加状況					
開所日	当事者	支援員	関係者	計	備 考
4 月 3 日	2 人	1 人	5 人	8 人	居場所開所
4 月 26 日	2 人	1 人	2 人	5 人	居場所開所
5 月 31 日	2 人	1 人	3 人	6 人	居場所開所
7 月 1 日	2 人	1 人	4 人	7 人	居場所開所
8 月 1 日	2 人	2 人	2 人	6 人	居場所開所
8 月 18 日	1 人	- 人	1 人	2 人	障がい者作品作り
8 月 30 日	1 人	2 人	2 人	5 人	居場所開所
9 月 11 日	4 人	- 人	6 人	10 人	ひきこもり家族学習会
10 月 1 日	2 人	1 人	3 人	6 人	居場所開所

11月 1日	1人	2人	1人	4人	居場所開所
11月29日	2人	1人	2人	5人	居場所開所
12月26日	2人	-人	1人	3人	居場所開所
1月31日	-人	-人	-人	-人	居場所は大雪により中止
2月28日	-人	-人	-人	-人	居場所は新型コロナウイルス感染拡大防止で中止
計	30人	15人	42人	87人	

(2) 中間的就労の場である社協あぐり（農園）の取り組み

①社協あぐりの目的

ひきこもり者と地域住民とが交流を図るため。農園づくりを通してながら農作物の生長過程など、モノをつくる喜びを分かち合うとともに、共同での作業を通してながら孤立感をなくしていこうとするものである。

②社協あぐりの作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
平成31年 4月1日	障がい者・生活困窮者等の働く場の創出事業業務委託契約締結	委託者 津別町長 委託料 831,012円
4月17日	社協あぐり運営委員会 ボランティア12人、町1人、 社協3人、 計16人出席	旭昇園
5月14日	社協あぐり畑ロータリーかけ	大野 権 氏
5月16日	野菜苗植え～種イモ、玉ねぎ (当事者1人、ボランティア14人、社協3人、 計18人)	寄贈苗～玉ねぎ苗(西山氏、 高橋商店)、種イモ(江草氏)
5月23日	野菜苗植え～かぼちゃ苗 (当事者1人、ボランティア1人、社協1人)	寄贈苗～かぼちゃ苗(高橋氏)
5月	野菜苗植え～ブロッコリー (ボランティア1人)	寄贈苗～ブロッコリー苗 (山本氏)
6月20日	草取り作業 (当事者1人、ボランティア11人、社協1人、 計13人)	
7月4日	草取り作業 (当事者1人、ボランティア10人、社協2人、 計13人)	
7月29日	草取り作業 (当事者1人、ボランティア10人、社協1人、 計12人)	寄贈苗～ヤーコン(高橋氏)
8月15日	大根種植え(当事者1人、ボランティア2人、 社協1人、計4人)	種購入
8月17日	トウキビ種植え(ボランティア1人)	種購入
8月19日	草取り作業 (当事者1人、ボランティア8人、社協2人、 計11人)	
8月19日	畑周囲ネット張り作業 (当事者1人、ボランティア2人、社協2人、 計4人)	キツネ被害防止のため畑周囲のネット張り
9月5日	野菜収穫と草取り作業 イモの収穫(当事者1人、ボランティア9人、 社協2人、計12人)	ジャガイモ収穫

9月22日	野菜収穫、草取り作業、収穫祭 (当事者1人、ボランティア11人、社協1人、計13人) 終了後、町民会館で採れたイモ、玉ねぎ、とうきびを使って収穫祭	トウキビ収穫(ケアハウス30本、ほのぼの30本、ののか20本、地主30本を寄贈)
10月18日	大根、玉ねぎ収穫、トウキビ片付 (当事者1人、ボランティア11人、社協2人、計14人)	
10月20日	つべつ産業まつりに出店 大根5本で300円を出店 (当事者1人、ボランティア5人、社協1人、計7人)	150本出店 (虫食い大根がほとんどで、出店本数少なかった。施設への配布も数がなかった)
11月6日	大根畑掘り出し作業 (当事者1人、社協1人)	漬物樽洗い
11月6日	大根の粗漬け(当事者1人、ボランティア1人、社協2人、計4人)	社協前で実施
11月19日	大根の粕漬け準備作業(社協1人)	
11月20日	大根粕漬け作業 (当事者1人、社協1人)	樽は居場所に保管 4斗樽2つにつける 漬け物は、各地区サロンや社協主催の一人暮らしの集い、ちょこっと茶屋で使用する。

※漬物については、各地区サロンやちょこっと茶屋等の昼食時に提供し、交流を深めた。

事業名	第28回つべつふれあい広場
内容	・「ふれあう心を大切に・みんなで支え合う町に」を掲げ関係機関と連携を図り、町内で実施している福祉の情報発信を行ってきた。
<p>(実績と評価)</p> <p>■開催日時 令和元年7月28日(日) 10:00 ~ 14:00 (会場準備 前日9:00から)</p> <p>■開催場所 中央公民館 来場者 300名</p> <p>■実行委員団体 24団体</p> <p>■内容</p> <p>□ふれあいの店・各種コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼鳥、焼きそば ・いももち ・わたあめ ・ごぼう茶 ・アイス ・飲み物 ・でんぷん団子 ・ブタ汁無料配布 ・小物販売 ・手作りエコクラフト ・カフェコーナー ・健康づくり、介護相談コーナー ・水玉ヨーヨー ・車いす体験 ・福祉車両紹介 ・啓発活動 ・募金活動 ・友愛セール ・活動写真展示 ・作品展示 ・高齢者レクリエーション用具体験 ・高齢者疑似体験 <p>□実行委員団体活動紹介展示</p> <p>□おりがみワークショップ (びよんびよんカエル、羽ばたくとり、ダリア、スライム、ピカチュウ) おりがみカウンセラー 本間 千里 氏</p> <p>□お楽しみ抽選会 (2回) ~ 12:00から 13:20から 景品提供商店等 15事業所 景品数 80点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会 令和元年5月29日(水) 15:00 ~ ・第2回実行委員会 令和元年7月9日(火) 15:00 ~ 	

事業名	ひとり暮らしの集い
内容	・在宅高齢者の社会参加の促進と安否確認のため、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に交流の場として、年2回（7月・1月）開催した。
<p>(実績)</p> <p>1、集いの開催</p> <p>(1) 第1回ひとり暮らしの集い 日 時 令和元年7月11日(木) 11:00~13:00 北海道でてこいランド 参加者 59名 ボランティア 22名 役職員 7名 来賓 佐藤町長 内 容 ①ジンギスカンを囲んでの会食 ②ボランティア歌唱披露 ③おたのしみ抽選会</p> <p>(2) 第2回ひとり暮らしの集い 日 時 令和2年1月15日(水) 11:00~13:00 町民会館 参加者 58名 ボランティア 21名 役職員 8名 出演者 2名 内 容 ①講話「津別町のまちづくりについて」 河本 純吾 氏 ②鍋を囲んでの会食 ③余興「マジックショー」 ミントマジシャンズクラブ 長谷 敬 氏 ④おたのしみ抽選会</p> <p>2、周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の70歳以上ひとり暮らし世帯に対し、集い開催情報を記載した年賀状の送付を行う。 作成 320枚 送付 279枚 ・年賀状作成ボランティア 令和元年12月9日(月) 13:00~15:00 参加者 9名 	

事業名	長寿者夫婦の集い
内容	・夫婦の年齢合計が140歳以上の世帯の方を対象に、冬場の閉じこもり防止及び安否確認を目的として開催した。
<p>(実績)</p> <p>1、集いの開催</p> <p>日 時 令和2年2月5日(水) 11:00~13:00 町民会館 参加者 17組 34名の夫婦世帯 ボランティア 17名 役職員 6名 出演者 2名 内 容 ①講話「津別町のまちづくりについて」 河本 純吾 氏 ②鍋を囲んでの会食 ③余興「マジックショー」 ミントマジシャンズクラブ 長谷 敬 氏 ④ビンゴ大会</p> <p>2、周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去、集いに参加されている方へ案内文の送付 ・単位老人クラブへ案内文の送付とポスター掲示依頼 ・つべつかわら版への記事掲載 	

事業名	給食サービス事業
内容	週2回(火・金)ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図ってきた。

(実績と評価)

- 【年間の利用者数】 実人数 56人 延べ人数 482人 月平均 40人
- 【年間の食数】 弁当 3,500食(おせちを含めると3,528食) 月平均 292食
- 【年間のボランティア数】 実人数 22人 延べ人数 616人

月	回数	利用者 実人数	食数		ボランティア数	
			お弁当	みそ汁	実人数	延べ人数
4月	9	35	274	68	17	52
5月	9	38	272	72	17	53
6月	8	38	262	72	18	47
7月	9	41	310	70	21	53
8月	9	43	322	87	23	54
9月	8	41	278	75	20	50
10月	9	43	335	89	20	55
11月	8	42	323	79	20	54
12月	8	40	268	64	21	48
1月	8	38	264	68	21	48
2月	8	41	267	70	21	48
3月	9	42	325	79	18	54
計	102	平均 40	3,500	893	平均 20	616

※年末のおせち 28食

- ・利用者数が増えてきているが、配達ボランティアの人数は変わらないため、1人が月に3~4回活動している状況である。ボランティアの負担を軽減のため新たな担い手を探す必要がある。
- ・給食サービス利用者・ボランティア交流会
令和2年6月27日(木) 参加者 利用者7名 ボランティア16名
今年度、初めて実施した事業で、たまには大勢の中で食事を摂る機会とボランティアとの交流を目的に実施した。利用者の参加が少なかったものの自己紹介など交流を深められた。

事業名	ふれあい郵便事業			
内容	・町内在住 80 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月 1 回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施した。			
(実績)				
1、配布状況				
月	自治会配布枚数	給食サービス時配布枚数	郵便局配布枚数	合計
4月	65	1	95	160
5月	68	1	97	165
6月	68	1	96	164
7月	68	1	98	166
8月	68	1	97	165
9月	70	1	97	167
10月	70	1	98	168
11月	68	1	95	163
12月	68	1	98	166
1月	66	1	102	168
2月	66	1	102	168
3月				
計	734	11	1,075	1,820
※令和 2 年 3 月は、絵手紙サークルが新型コロナウイルス感染予防のため中止となったので配布中止				
2、配布協力自治会 (11 自治会)				
<ul style="list-style-type: none"> ・旭町第 1 ～ 36 枚 ・旭町第 2 ～ 138 枚 ・旭町第 3 ～ 111 枚 ・高台町 ～ 33 枚 ・緑町第 1 ～ 37 枚 ・緑町第 3 ～ 14 枚 ・共和第 3 ～ 115 枚 ・共和第 4 ～ 61 枚 ・豊永第 3 ～ 127 枚 ・新町 ～ 6 枚 ・柏町 ～ 56 枚 				
3、絵手紙ボランティア (7 名)				
<ul style="list-style-type: none"> ・原案作成 (豊永 山内 浩子氏) ・色付け (第 3 月曜日 13:00～) 絵手紙ボランティア ・宛名書き (共和 中右 氏) 				

事業名	介護器具の貸出事業			
内容	・在宅介護が必要な方に介護器具の情報提供と整備を図りながら、ベッド・車イス・エアーマットの貸し出しを行う。			
(実績)				
1、年間の利用状況				
(1) 介護用ベッド	・・・	6 台 (新規 1 件、返却 2 件)	総数 4 台	
(2) 車イス	・・・	15 台 (新規 8 件、返却 8 件)	総数 20 台	
(3) エアーマット	・・・	0 台 (新規 0 件、返却 0 件)	総数 1 台	
2、利用料金の請求				
(1) 継続利用者				
	①10 月請求 (4 月～9 月)	②4 月請求 (10 月～3 月)		
(2) 短期利用者 返却時に集金				
(3) 年間利用金額				
	介護用ベッド	51,000 円	車イス	31,500 円 計 82,500 円
(4) 利用料金				
①介護用ベッド	1 ヶ月	1,000 円	②車イス	1 ヶ月 500 円
③エアーマット	1 ヶ月	500 円		

事業名	男の料理教室			
内容	・60歳以上の男性を対象に年3回(2月・3月)男性の生活力向上、料理を楽しむ交流する場として開催した。			
(実績と評価)				
	日付	メニュー	参加者	奉仕団
第1回	2月19日(水)	ビビンバの目玉焼きのせ わかめスープ 海苔サラダ かぼちゃ汁粉	12人	4人
第2回	3月4日(水)	パッククッキング(ごはん みそ玉 肉じゃが オムレツ 切干大根煮)		
第3回	3月19日(水)	野菜蒸しパン 生姜スープ 野菜グラタン 白菜サラダ ヨーグルトでティラミス風		
<p>※講師は津別町役場の土井ゆかり管理栄養士。 調理支援ボランティアは赤十字奉仕団に依頼をし、ご協力いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回を3月4日、第3回を3月19日に予定していたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止としたので、今年度は1回の開催となった。 ・全3回を通して、参加希望者は17名であり、うち16名が昨年度参加者、また過去の参加者だった。来年度も前年度の参加者に案内を郵送することと合わせて、社協だよりやかわら版などで周知を行い、新規の参加者を増やすことを検討する。 ・赤十字奉仕団の集合時間を9時としたことで、開始時間までに余裕をもって準備することができた。また各班に1名、調味料の計量など全体をフォローする役割1名でボランティアを配置したため、調理を円滑に進めることができ予定時間より早くできたため、来年度も奉仕団の協力をいただいて同様に進めたい。 				

事業名	生活福祉資金貸付事業			
内容	・北海道社会福祉協議会の貸付事業。低所得者世帯等が生活資金、修学資金等を借りたい場合の相談業務や事務手続きを行います。			
(実績と評価)				
<input type="checkbox"/> 新規貸付実績 無し				
<input type="checkbox"/> 継続案件				
<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金 福祉費(障害自動車の購入経費) 1件 貸付金額 1,505,000円 ※平成25年3月25日貸付。平成25年9月26日より償還開始 (最終償還期限日 2021年9月25日) ・生活福祉資金 教育支援資金(教育支援費) 1件 貸付金額 1,440,000円 内容 ~ 専門学校への進学のための費用 ※平成30年3月で貸付終了。9月26日より償還開始(最終償還期限日 2032年9月25日) 				

事業名	地域老人懇談会助成事業																																																																
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動を推進するため、自治会単位で開催する高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成を行う。 ・対象者は70歳以上の方 ・20名までは、一人1,000円、21名から一人500円の助成 																																																																
(実績と評価)																																																																	
<p>■助成自治会 (15自治会)</p> <table border="1"> <tr><td>旭町第2自治会</td><td>4月14日</td><td>参加者 11名</td><td>助成金額 11,000円</td></tr> <tr><td>東達美自治会</td><td>7月15日</td><td>参加者 10名</td><td>助成金額 10,000円</td></tr> <tr><td>活汲中央自治会</td><td>9月1日</td><td>参加者 25名</td><td>助成金額 22,500円</td></tr> <tr><td>達美町自治会</td><td>9月12日</td><td>参加者 21名</td><td>助成金額 20,500円</td></tr> <tr><td>共和第2自治会</td><td>9月14日</td><td>参加者 38名</td><td>助成金額 29,000円</td></tr> <tr><td>共和第4自治会</td><td>9月28日</td><td>参加者 23名</td><td>助成金額 21,500円</td></tr> <tr><td>共和第3自治会</td><td>9月29日</td><td>参加者 19名</td><td>助成金額 19,000円</td></tr> <tr><td>豊永第3自治会</td><td>10月6日</td><td>参加者 29名</td><td>助成金額 24,500円</td></tr> <tr><td>豊永第4自治会</td><td>10月9日</td><td>参加者 23名</td><td>助成金額 21,500円</td></tr> <tr><td>幸町自治会</td><td>10月13日</td><td>参加者 22名</td><td>助成金額 21,000円</td></tr> <tr><td>西町自治会</td><td>10月15日</td><td>参加者 11名</td><td>助成金額 11,000円</td></tr> <tr><td>新町自治会</td><td>10月19日</td><td>参加者 11名</td><td>助成金額 11,000円</td></tr> <tr><td>緑町第1自治会</td><td>10月20日</td><td>参加者 25名</td><td>助成金額 22,500円</td></tr> <tr><td>本町自治会</td><td>11月3日</td><td>参加者 15名</td><td>助成金額 15,000円</td></tr> <tr><td>東町自治会</td><td>11月20日</td><td>参加者 36名</td><td>助成金額 28,000円</td></tr> <tr><td>柏町自治会</td><td>11月24日</td><td>参加者 21名</td><td>助成金額 20,500円</td></tr> </table> <p>■助成金額合計 308,500円</p> <p>■消防、警察、保健師、社協等を講師に呼んで、高齢者に対し講話を行う。</p>		旭町第2自治会	4月14日	参加者 11名	助成金額 11,000円	東達美自治会	7月15日	参加者 10名	助成金額 10,000円	活汲中央自治会	9月1日	参加者 25名	助成金額 22,500円	達美町自治会	9月12日	参加者 21名	助成金額 20,500円	共和第2自治会	9月14日	参加者 38名	助成金額 29,000円	共和第4自治会	9月28日	参加者 23名	助成金額 21,500円	共和第3自治会	9月29日	参加者 19名	助成金額 19,000円	豊永第3自治会	10月6日	参加者 29名	助成金額 24,500円	豊永第4自治会	10月9日	参加者 23名	助成金額 21,500円	幸町自治会	10月13日	参加者 22名	助成金額 21,000円	西町自治会	10月15日	参加者 11名	助成金額 11,000円	新町自治会	10月19日	参加者 11名	助成金額 11,000円	緑町第1自治会	10月20日	参加者 25名	助成金額 22,500円	本町自治会	11月3日	参加者 15名	助成金額 15,000円	東町自治会	11月20日	参加者 36名	助成金額 28,000円	柏町自治会	11月24日	参加者 21名	助成金額 20,500円
旭町第2自治会	4月14日	参加者 11名	助成金額 11,000円																																																														
東達美自治会	7月15日	参加者 10名	助成金額 10,000円																																																														
活汲中央自治会	9月1日	参加者 25名	助成金額 22,500円																																																														
達美町自治会	9月12日	参加者 21名	助成金額 20,500円																																																														
共和第2自治会	9月14日	参加者 38名	助成金額 29,000円																																																														
共和第4自治会	9月28日	参加者 23名	助成金額 21,500円																																																														
共和第3自治会	9月29日	参加者 19名	助成金額 19,000円																																																														
豊永第3自治会	10月6日	参加者 29名	助成金額 24,500円																																																														
豊永第4自治会	10月9日	参加者 23名	助成金額 21,500円																																																														
幸町自治会	10月13日	参加者 22名	助成金額 21,000円																																																														
西町自治会	10月15日	参加者 11名	助成金額 11,000円																																																														
新町自治会	10月19日	参加者 11名	助成金額 11,000円																																																														
緑町第1自治会	10月20日	参加者 25名	助成金額 22,500円																																																														
本町自治会	11月3日	参加者 15名	助成金額 15,000円																																																														
東町自治会	11月20日	参加者 36名	助成金額 28,000円																																																														
柏町自治会	11月24日	参加者 21名	助成金額 20,500円																																																														

事業名	広報啓発事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回(4月・7月・10月・1月)の社協だよりの発行 ・ホームページ、フェイスブックにより情報を提供
(実績と評価)	
<p>■社協だより 4回発行(4月・7月・10月・1月・) 1回8ページ</p> <p>■ホームページ、フェイスブックの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より開設 ・ホームページについては、プロテック株式会社に依頼 	

事業名	サークルぴゅあ例会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の疾患を持った当事者の会について、ボランティアによる企画・運営が行われており、その活動支援を行った。 ・開催案内の通知及び参加報告の窓口となる。 ・行事用保険の加入を行う。 ・開催経費の支援を行う。
(実績)	
1、例会の開催	
(1) 令和元年5月13日(月) 10:00~12:00 町民会館 大会議室 参加者4名 ボランティア3名 役場(相談支援員)1名(保健師)3名 社協2名 計13名 内容:近況報告、カラオケ、軽食交流(おにぎり)	
(2) 令和元年8月26日(月) 10:00~15:30 参加者3名 ボランティア3名 役場(相談支援員)1名 社協1名 運転手1名 計9名 内容:バス旅行 ~ 置戸町 キッチン木の実、温根湯 山の水族館	
(3) 令和元年11月25日(月) 10:00~12:00 社会福祉協議会 居場所 参加者5名 ボランティア3名 役場(相談支援員)1名(保健師)1名 社協1名 計11名 内容:クリスマス会、ペタンク大会、会食交流(クリスマスメニュー)	
(4) 令和2年3月9日にも予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	
2、リークルぴゅあ通信の発行	
(1) 発行日	
①NO.9 平成31年4月8日 ②NO.10 令和元年8月5日 ③NO.11 令和元年11月13日 ④NO.12 令和2年2月19日	
(2) 発送先	
①参加対象者 5名 ②ボランティア 3名 ③役場担当課 保健福祉課(地域包括支援センター、健康推進係)	

事業名	あんしん電話(緊急通報装置)の推進
内容	・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。
(実績)	
1、令和元年度の設置者 8名(3名解約) ※新規申込みなし	
2、装置使用料金の助成	
<ul style="list-style-type: none"> ・月額使用料 380円 ・助成金額 1ヶ月180円 ・上半期(4月~9月) 180円×8名=8,640円 ・下半期(10月~3月) 180円×6名=6,480円 計15,120円 	
3、斡旋機種	
シルバーフォンあんしんS 【取り扱い業者】 NTT東日本 北海道 北見支店	

介護サービス事業の推進

事業名	介護サービス事業
内容	<p>・介護保険制度のサービス事業者、障害福祉サービス事業者として、高齢者等の一人一人が、住み慣れた地域や家庭でいつでも安心した生活を送れるよう、良質な介護サービス提供に努め、利用者が介護サービスを適切に選択・利用できる環境づくりを関係機関と連携しながら推進するとともに、職員研修を充実させ、支援体制の整備を図ります。(訪問介護事業・介護予防訪問介護事業・訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業・障害福祉サービス事業)</p> <p>・町が実施する制度外の受託事業について、高齢者が健康で生きがいを持って生活できるように、関係機関と連携を図りその推進に努めます。(安否確認訪問事業・生活援助員派遣事業・地域生活支援(訪問入浴)事業)</p>
(実績と評価)	<p>・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めました。</p> <p>1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業 利用者数 延 646 人 回数 4,722 回 時間 4990.5 時間</p> <p>2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴 利用者数 延 16 人 回数 63 回</p> <p>3. 障害福祉サービス事業 利用者数 延 23 人 回数 76 回</p> <p>・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。</p> <p>1. 安否確認訪問(介護予防把握事業) 89 件(1 件 905 円)</p> <p>2. 安否確認訪問(認知高齢者見守り事業) 76 件(1 件 905 円)</p> <p>・ミーティング 毎月 1 回</p> <p>・内部研修 毎月 1 回</p> <p>4 月 講義「助け合い見守りで安心して住み続けられる町」 山田局長</p> <p>5 月 権利擁護・成年後見制度について 及川主事</p> <p>6 月 車イス研修</p> <p>7 月 高齢者に多い皮膚疾患 石崎保健師</p> <p>8 月 お年寄りの便秘と下痢 向平保健師</p> <p>9 月 救命処置講習(心肺蘇生術 AED・火傷・止血・むせ込み等) 消防士</p> <p>10 月 お年寄りの尿トラブル 向平保健師</p> <p>11 月 百歳体操 丸尾保健師 ・ スキルアップ研修報告 村松ヘルパー</p> <p>12 月 耳の働き 鈴木保健師</p> <p>1 月 高齢者の精神疾患 丸尾保健師</p> <p>2 月 おむつ交換</p> <p>3 月 新型コロナウイルス対応</p> <p>・本音で語る医療と介護のタウンミーティング 令和元年 9 月 12 日(木) 美幌町 出席者 ～ 溝渕ヘルパー、村松ヘルパー</p> <p>・障害・介護事業所集団指導 令和元年 9 月 26 日(木) 網走エコーセンター 門脇管理者出席</p> <p>・北海道ホームヘルプサービス協議会 網走地区連絡会議 スキルアップ研修 令和元年 11 月 8 日(金)～ 9 日(土) 旭川市 出席者 ～ 村松ヘルパー</p>

～ 介 護 保 險 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	9	8	6	5	4	4	4	4	6	6	8	8	72
	回数	40	49	26	28	19	20	21	17	20	24	26	33	323
	時間	40	49	26	26.5	19	20	21	17	20	24	26	33	321.5
要支援 1	人数	6	6	6	8	8	9	9	10	9	9	9	9	98
	回数	39	40	31	47	45	59	64	61	56	50	58	59	609
	時間	39	40	31	47	45	59	64	61	56	50	57.5	59	608.5
要支援 2	人数	8	8	8	9	9	7	6	6	7	5	6	7	86
	回数	58	57	55	67	67	49	39	38	35	31	36	48	580
	時間	58	57	55	67	67	49	39	38	35	31	39	48	583
介護1	人数	20	20	21	24	20	19	23	23	22	19	19	21	251
	回数	181	174	156	192	141	131	180	182	188	147	143	181	1996
	時間	199.5	187	169	194.5	145.5	140.5	203	205	197	167	164	201	2173
介護2	人数	7	7	8	6	7	7	8	7	7	6	7	6	83
	回数	57	60	61	48	71	68	71	70	62	54	53	55	730
	時間	65	69	67	55	79	76.5	78	80.5	70	61.5	65.5	62.5	829.5
介護3	人数	4	5	4	4	3	3	2	1	2	2	2	2	34
	回数	37	61	46	52	43	35	24	5	9	12	13	13	350
	時間	42.5	62.5	46.5	46	42.5	34.5	22.5	5.5	9	9.5	11	11.5	343.5
介護4	人数	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1		22
	回数	13	15	18	12	14	12	14	12	8	8	8		134
	時間	13	14.5	16.5	12	14	12	14	12	8	8	7.5		131.5
介護5	人数													0
	回数													0
	時間													0
合計	人数	57	57	56	58	53	51	54	53	54	48	52	53	646
	回数	425	456	393	446	400	374	413	385	378	326	337	389	4722
	時間	457	479	411	448	412	391.5	441.5	419	395	351	370.5	415	4990.5

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護4	人数	1												1
	回数	5												5
介護5	人数	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	回数	5	4	7	9	4	5	4	4	4	4	4	4	58
合計	人数	2	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	回数	10	4	7	9	4	5	4	4	4	4	4	4	63

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
H12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	H22年	13,789,360	129,380	13,918,740
H13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	H23年	14,887,000	431,250	15,318,250
H14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	H24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390
H15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	H25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
H16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	H26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
H17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	H27年	18,919,450	569,378	19,488,828
H18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	H28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
H19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	H29年	23,469,960	725,890	24,195,850
H20年	14,330,830	776,300	15,107,130	H30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
H21年	12,780,180	345,010	13,125,190	R元年	19,941,062	858,330	20,799,392

津別町老人クラブ連合会事務局の運営

事業名	津別町老人クラブ連合会事務局の運営
内容	・津別町老人クラブ連合会事務局として、会員増強に向けた視察や会員間の交流事業に重点を置いて運営を行った。
(実績と評価)	
<p>1. 定期総会 5月28日(火) 津別町町民会館 12クラブ34人、事務局3人・来賓1人 出席 懇親会(いっばち) 11クラブ24人、事務局4人出席</p> <p>2. 組織の状況 12クラブ 会員 382人(令和元年5月1日現在)</p> <p>3. 三役会議 第1回 6月18日(火) 社会福祉協議会 4人出席 第2回 10月28日(月) 社会福祉協議会 4人出席 第3回 令和2年4月23日(木) 社会福祉協議会 4人出席</p> <p>4. 役員会議 第1回 6月14日(火) 社会福祉協議会 10クラブ12人出席、事務局2人 第2回 令和2年5月～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>5. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網走地区老人クラブ連合会総会 5月10日(金) 網走市 星屋会長、事務局1人出席 ・網走地区老人クラブ連合会網走ブロック研修 7月25日(木) 網走市 津別町から 10クラブ38人、事務局1人 ・津別町老人クラブ連合会女性研修会 8月23日(金) 町民会館 6クラブ17人、星屋会長、講師1人、事務局3人 講演「折り紙でいきいき生活」 講師：折り紙カウンセラー 本間 千里 氏 ・津別町老人クラブ連合会会長杯パークゴルフ大会 9月4日(水) ふれあい公園パークゴルフ場 9クラブ男21人、女11人役員・事務局5人 ・津別町老人クラブ連合会会長杯ゲートボール大会 9月17日(火) 屋内ゲートボール場 8クラブ25人、役員・事務局5人 ・網走地区老人クラブリーダー研修会 10月10日(木)～11日(金) 網走湖荘 津別町から 7クラブ8人、事務局1人 ・津別町老人クラブ連合会演芸交流会 11月5日(火) 津別町中央公民館 9クラブ31組35人出演、参加者135人(受付名簿) ・津別町老人クラブ連合会先進地視察研修 12月19日(木) 視察先 弟子屈町老人クラブ連合会 津別町から 10クラブ24人、事務局2人、 終了後、反省会 「いっばち」 9クラブ20人、事務局3人 ・網走地区老人クラブ連合会理事会 2月19日(水) 網走市 星屋会長・事務局1人出席 <p>6. 表彰 該当者なし</p>	

令和元年度 定款・規程・規則の整備状況

【定款】

区 分	届出年月日	内 容	備 考
な し			

【規程】

区 分	公布年月日	内 容	備 考
一 部 改 正	R元.12.2公布	職員給与規程の一部改正	

【規則】

区 分	公布年月日	内 容	備 考
一 部 改 正	R元.12.26公布	職員就業規則の一部改正	